

Daily Report (号外)

～FOMCの結果について～

概要

FRB(米連邦準備制度理事会)は6月17-18日に開催したFOMC(連邦公開市場委員会)において、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を4会合連続で4.25-4.50%に据え置き警戒姿勢を維持しました。決定は全会一致で行われ、事前の予想通りの結果になりました。

FOMC後に発表された声明文では、失業率については「低水準」との表現を維持しました。また、経済見通しについては「不確実性は低下したが依然として高い」とし不透明であるとの認識を示しました。

パウエル議長はFOMC後の記者会見で、最近のインフレ抑制を認めつつも、「関税がインフレに及ぼす影響は根強い可能性がある」として警戒姿勢を維持し、引続き雇用や物価動向など経済情勢を慎重に見極める方針を示しました。

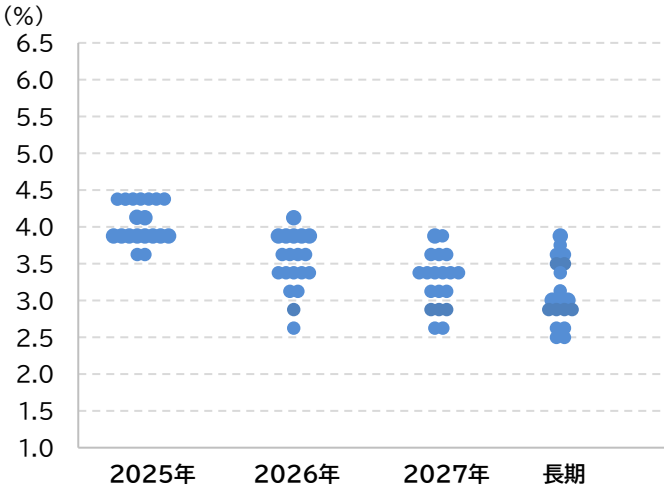
3月以来の公表となるFOMC参加者の経済見通し(中央値ベース)では、GDP成長率は2025年が1.4%(前回1.7%)に、2026年が1.6%(前回1.8%)に下方修正した一方、2025-2027年の物価見通し(PCEデフレーターとコアPCEデフレーター)は上方修正しました。また、失業率見通しについても、2025年が4.5%(前回4.4%)に、2026年が4.5%(前回4.3%)に、2027年が4.4%(前回4.3%)に上方修正されました。FF金利予測(ドットチャート)については、2025年末は3.9%(前回3.9%)と年内に追加で計0.5%の利下げを行う想定を維持したものの、2026年末は3.6%(前回3.4%)、2027年末は3.4%(前回3.1%)に上方修正しました。

図表1 FOMC参加者の経済見通し
(中央値ベース)

	2025年	2026年	2027年	長期見通し
GDP成長率	1.4%	1.6%	1.8%	1.8%
(前回3月)	1.7%	1.8%	1.8%	1.8%
失業率	4.5%	4.5%	4.4%	4.2%
(前回3月)	4.4%	4.3%	4.3%	4.2%
PCEデフレーター	3.0%	2.4%	2.1%	2.0%
(前回3月)	2.7%	2.2%	2.0%	2.0%
コアPCEデフレーター	3.1%	2.4%	2.1%	
(前回3月)	2.8%	2.2%	2.0%	
FFレート(中央値)	3.9%	3.6%	3.4%	3.0%
(前回3月)	3.9%	3.4%	3.1%	3.0%

出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測
(ドットチャート)



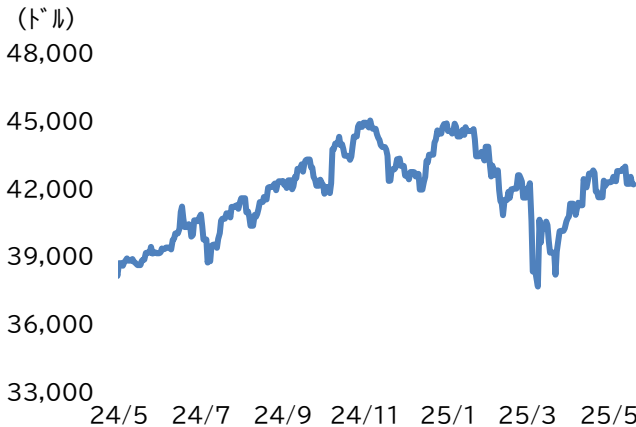
出所:FRBより弊社作成

市場の反応(米国市場)

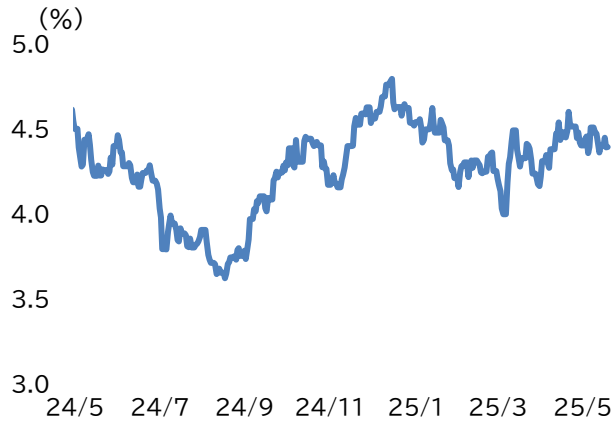
今回のFOMC結果に対し、サプライズはなく、金融市場の反応は概ね落ち着いたものでした。

NYダウは前日比44.14ドル安の42,171.66ドルで終えました。米国10年国債利回りは、前日からほぼ変わらず4.39%となりました。外国為替市場では、ドットチャートで2025年中に計2回の利下げを行う想定が維持されたことを受けてドル円は下落し、一時144円台まで下落しました。

NYダウの推移



米10年国債利回りの推移



(期間)2024/5/31~2025/6/18、(出所)Bloomberg

評価及び今後の見通し

今回のFOMCは予想通り金利据え置きとなりました。しかし物価見通しの上方修正に加えドットチャートでは将来の利下げ見通しが後退するなど、引き続き、関税の影響を警戒していることがうかがえる内容でした。パウエル議長の会見では、「現在の政策スタンスは良好である」と一定の満足を示す一方、関税の影響も利下げが可能となる時期も「分からない」として不確実性が金融政策の決定に影響を及ぼしていると示唆しました。金融市場は2025年中の計2回の利下げをほぼ完全に織り込んでいますが、利下げ実施時期は経済状況や関税政策の影響次第です。先行きについて不確定要素が多くありますが、FRBは今後も経済指標を注視しながら、最大雇用と物価安定の目標達成に向けて適切な舵取りを行っていくと見られます。

(ご参考)今後の主要イベント

日程	イベント
2025/7/30-31	日銀金融政策決定会合
2025/7/29-30	FOMC
2025/7/24	ECB理事会

出所:Bloomberg